

今月号の話題

◆田植え

◆いきいき県民カレッジ奨励証授与式

◆インタビュー

「金屋いきいき茶の間」さん

# おらだり

「おらだり」とは荒川地区の方言で「私たちの住む地域」という意味です。

校庭からセミの声、プールからは子どもたちの声が響いています。地域のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。今学期は新型コロナウイルス感染症防止のため急な休校や分散登校など例年にない事態が度々ありました。このような状況の中でも地域のみなさまにはたくさんのご理解とご協力いただいたことを感謝しております。また学校や子どもたちに温かい励ましのお言葉もたくさんいただきました。重ねてお礼申し上げます。

さて、1学期は新型コロナウイルス感染症防止のため、なかなか地域のみなさまに学校に来ていただくことができませんでした。これまで金屋小学校には地域ボランティアさんがたくさん来てくださっていたので、とても残念でした。このような厳しい状況ではありますが、新型のウィルスに負けず保護者のみなさんや地域のみなさんと連携し「地域とともにある学校」を実践していきたいと思えます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

(文責 地域コーディネーター 小川 涼子)

## 田植え

子どもたちが心待ちにしていた田植え。今年度は「新しい生活様式」の田植えということで5年生と職員と地域ボランティアさんとが協力して分散田植えを行いました。下の写真をご覧ください。田植えがこんなに静かなことは初めてでした。実りの秋を迎えるころには新型コロナウイルス感染症が収束していますように…。

マスク着用とソーシャルディスタンス！PTA会長さんがお手本です。



密を避け、5年生が田植え。ボランティアさんと職員は田直しをしました。



## 奨励証授与式

7月28日(火)に金屋小学校校長室にて「いきいき県民カレッジ」の奨励証授与式が行われました。受賞されたみなさま、いつもボランティアをしていただき本当にありがとうございます。



遠山 イネ様より  
参加することに意義があるので、という思いでお誘いがあれば応援したいという気持ちでボランティアをさせていただいています。今後も金屋小学校を応援していきたいです。

遠山 恵美子様より  
今年末内孫が入学して3人も孫がお世話になっています。都合のよい時だけボランティアをしていたのにこのような奨励証をいただいて恐縮でございました。マイペースですが今後もよろしくお願いいたします。

遠山 悦子様より

ボランティア活動に参加させていただくようになってから6年以上になりました。先生方はじめ生徒さんたちからは参加させていただくたびにいろいろな面で勉強になりました。また、元気もいっぱいいただきました。これからも、自分のためにも、声をかけていただいて都合の良い日であればぜひ参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

いきいき県民カレッジでは地域の方がこれまでに学んでこられた知識や技を学校、地域で生かす取り組みを応援しています。また、ボランティアをすることで「活用手帳」に記録され学長である県知事から奨励証が授与されます。新潟県では「様々な学習に取り組むだけでなくその成果を積極的に活用していただくことは人生を豊かにするとともに、地域創生や未来を担う子どもたちの教育においてとても重要」として循環型生涯学習の推進をしています。手帳に有効期限はありません。金屋小学校では地域ボランティアさんに「活用手帳」の趣旨を説明するとともに積極的に導入しています。

紹介します!

## 金屋いきいき茶の間 さん



6月26日(金)に金屋小学校第1回学校運営協議会が開催されました。その際に「金屋いきいき茶の間」代表の遠山イネさんにインタビューをしました。また、右の写真は昨年11月に家庭科のミシンボランティアに来てくださったときのものです。



質問 どのようなことをする団体(集まり)ですか?

金屋、馬場地区の概ね65歳以上の方が心も身体も元気で健康に過ごすことができるように交流して楽しむ会です。おしゃべり、歌、体操などを行っています。またほかに講師の先生に来ていただいてみんなで勉強することもあります。

質問 金屋小学校の印象はいかがですか?

真面目で素直。親しみやすいお子さんが多いです。会うと元気よくあいさつをしてくれるお子さんが多いです。

金屋小学校の子どもたちへメッセージをお願いします。

健康を第一に元気で明るく学校生活を送ってください。金屋いきいき茶の間のみなで見守っています。新型コロナウイルス感染症が収まったらまたお会いしましょうね。